

(2) 道徳教育の充実

一人一人のこどもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道徳性の育成に努める。

実 践 事 項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

1 道徳教育を推進する指導体制と全体計画の整備・充実

- ・校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に、全教職員が協力して道徳教育を展開する機能的な指導体制を整備し、充実を図る。
- ・学習指導要領及び解説の趣旨や内容について、より理解を深める。
- ・自校の道徳教育の目標を達成するために、全体計画及び全体計画別葉を作成し、それを各教科の具体的な指導に結び付ける。
- ・児童生徒の発達段階や特性を踏まえて、学校、地域社会等の実態や課題に応じた重点内容項目を設定する。
- ・学校の道徳教育の重点や推進すべき方向性について教職員間での共通理解や連携を図る機会を確保し、諸計画の見直しや指導の改善・充実を図る。

2 「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

★児童生徒や学校の実態に応じて、重点内容項目を複数回位置付けた年間指導計画を作成し、評価・改善を図る。

- ・「内容項目の理解」「児童生徒の実態把握」「教材の効果的な活用」を基に、育てたい諸様相とねらいを明確にした授業づくりをする。
- ・教師の指導の意図に基づいたねらいに迫る中心発問と、中心発問を深めていくための問い返しや揺さぶりの発問を工夫する。
- ・児童生徒が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるようにするための指導の工夫をする。
例：教材の提示、発問、話し合い、書く活動、動作化や役割演技などの表現活動、板書、説話、I C Tの活用

3 道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子の継続的な把握と、評価を生かした指導の工夫

- ・全教職員の共通理解による組織的・計画的な評価の推進に努める。
例：評価のために集める資料や評価方法の明確化、評価結果について教師間での検討、評価の視点などについての共通理解、評価に関する実践事例の蓄積と共有
- ・授業における「学習状況（学びの姿）を見取る視点」を明確にし、指導と評価の一体化を図る。
- ・児童生徒の学習状況（学びの姿）を蓄積し、大きくくりなまとまりを踏まえた評価や、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を行う。

4 郷土を愛する心を育む指導の充実

- ・家庭や地域社会と連携、協力しながら取り組めるよう、道徳教育に関する情報を積極的に発信する。
例：自校の道徳教育の方針や計画の公表、道徳科の授業公開、道徳教育に関する情報交換の場の設定、学校運営協議会等との連携
- ・郷土の先人、地域に根付く伝統と文化、行事、歴史などを題材にした、地域教材等を効果的に活用する。